

井尻公民館だより

(2024年6月1日発行)

〈令和6年 6月号〉

(第243号)

〈連絡先・問い合わせ先〉

館長 古屋 宗克 ()

主事 水上 由人 ()



目には青景 山ほととぎす初鯉

山口素堂

季節感を見事に表現した一句ですよね、正しくは、「目には」だそうです。江戸時代には鎌倉で水揚げされた「相州の初鯉」は特に珍重され早船で届けられ將軍に献上されたそうです。

👉絵手紙愛好会 須田正枝

6月の歳時記♪ 梅雨・衣替え・夏至・父の日・・・

『菊づくり』



5月8日(水)午後5:00から講師に白川さんを招き講習会を実施しました。気に入った種類の花芽を採取し名前プレートに種類名を記入して大切に持ち帰りました。参加者は、ベテランの皆さんをはじめ、初めての参加ですと三日市場からの女性も加わり会話も弾み楽しいひと時でした。秋が楽しみです。

太極拳

素晴らしい演技で会場から盛んな拍手をいただきました。



公民館の歴史のある太極拳活動今年も素晴らしい演舞を披露しました

山梨県スポーツレクリエーション祭り 4月21日（日）にて

足腰鍛えて生涯健康

何か体を動かすことをしたい人にはお勧めです。

- 転倒予防、腰痛改善
- バランス、筋力、柔軟性を同時に向上
- 集団でも個人でも無理なく行える健康と生きがいのスポーツ、ゆったりとした動きなので

運動が苦手でも安心です。

太極拳について中国発祥の武術で、ゆったりとした動きが特徴です。

年齢性別を問わず、誰でも練習し、どこでも、いつでも楽しむことができる生涯 スポーツです。

全国大会もあり競技スポーツとしての一面もあります。剣や扇を持って演舞することもあり、大勢でそろった動きはとてもきれいです。



4月26日（金）安全点検のため「消防署の立ち入り検査」がありました。



5月3日（金）井尻公民館、南入口の植え込み剪定作業を水上主事と館長で実施しました。放課後児童クラブの皆さんが、いつも使う入口です。児童クラブの先生からも植え込みにいる蜂が気になるとの話があり、その対策も兼ねていました。

昨年も、大きな蜂の巣を除去したそうです。

※お詫びと訂正（井尻公民館だより 5月号）掲載 運営委員氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

○公民館運営委員の紹介、社協評議員（誤）『佐藤泰二』様→（正）『佐藤泰士』様です。

(川柳) (井尻公民館川柳愛好会) 令和六年四月二十六日

世の中は色即是空全て空
真白な一年生が育つ色

(久保晃)

遠い日のお色直しに涙ぐむ

(三井厚子)

野や山の色彩あざやか目も笑う

(田辺たみ子)

色めがね掛けてた事に今気付く

(古屋典子)

性別は染色体で決められず

(雨宮江身子)

畑仕事とりどりの服を着て

(石垣まさ子)

人生の喜怒哀楽を色紙にね

(中村廣一)

貧も富も焼場の煙同じ色

(関口正次)

(飯島武志)

(短歌) 令和六年四月四日

(久保晃)

沈丁花満開となり白き花

気高き香狭庭に満ちる

身体は衰退厳しき歳なれど

何故か臭覚未だ変わらず

令和六年五月

(古屋和子)

五月晴れ端午の節句の幟旗

あまり見かけず少子化ありや

雨上り筍を掘る灰汁^{あく}抜き

料理変えては旬を味わう



(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 令和六年五月一日

子らの声連れ去り猛る青嵐

(飯島武志)

翡翠の瑠璃の残像湖面揺る

(飯島和子)

川蝉や陽は天中に川ひかる

(増田英仁)

翡翠の淵を離れて夕ごろ

(小林昂平)

翡翠や水面に宙を穿ちけり

(鶴田光子)

虹色の矢となり翡翠^{ひすい}漁れる^{すなど}

(三柵 淳)

青嵐ぶどうの新芽揺らしゆく

(三森美恵子)

※お詫びと訂正 (井尻公民館だより五月号)掲載俳句の作品名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

○飯島和子様 作

(誤 『草笛や秘めし呼びを放つごと』

↓正 『草笛や秘めし叫びを放つごと』です。